

夏秋キュウリの有機栽培に適した耐病性品種

福島県農業総合センター 作物園芸部
平成19年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

野菜 - キュウリ - 品種、病害虫防除、施設資材
分類コード 03-01-01233500

2 担当者

緑川弥寿彦・堀越紀夫

3 要旨

防虫ネット被覆による夏秋キュウリの有機栽培において、褐斑病耐病性の品種比較試験を行った。その結果、「Vサマー」、「ステータス夏」に耐病性が認められた。また、台木では、ブルームレス台木による差はなく、ブルーム台木の「新土佐1号」で罹病が少なかった。

- (1) 穂木の比較試験において、生育終了時の1株あたりの褐斑病病斑数は、比較品種「金星114」の106個に対し、「Vサマー」7個、「ステータス夏」3個、「PS-2」75個となり、「Vサマー」、「ステータス夏」で明らかに罹病が少なかった(台木はいずれも「ときわパワーZ2」)。
- (2) 可販果の収穫本数は、いずれの品種も5,500本/a前後で差がなかった。
- (3) 台木の比較試験において、1株あたり褐斑病病斑数は、ブルームレス台木では、比較品種「ときわパワーZ2」、供試品種「ひかりパワーG」、「昇竜」がそれぞれ106、121、96個で差がなく、ブルーム台木の「新土佐1号」では24個と少なかった(穂木はいずれも「金星114」)。
- (4) 可販果の収穫本数は、「昇竜」、「ひかりパワーG」がやや高い傾向にあるものの明らかな差はなかった。

4 その他の資料等

なし